

マーケットの動き (2026年4月6日～4月10日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週半ばに中東での2週間の停戦合意が伝わると、投資家のリスク選好姿勢が強まり、ハイテク株を中心に上昇しました。その後は、停戦合意を受けた急伸の反動から持ち高調整の売りが優勢となり、上昇幅を縮めて週を終えました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し (2026年4月)

外国株式相場は、米国、欧州ともに調整一巡後は底堅く推移

企業業績については、AI関連銘柄を中心に増益基調が続き、全般的に堅調とみています。米国株式相場は、中東情勢の緊迫化やAIによるサービス代替懸念に加えて、FRB（米国連邦準備制度理事会）による年内の利下げ観測が後退していることも重しとみられますが、軍需産業にとってプラスとみられることから、調整一巡後は底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の高騰や、ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が重しとみられますが、域内諸国の財政拡張政策が支援材料となり、調整一巡後は底堅く推移するとみています。

	4月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,816.89	3.56%	0.52%	4.03%	29.40%
NYダウ	47,916.57	3.04%	0.44%	5.36%	21.02%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

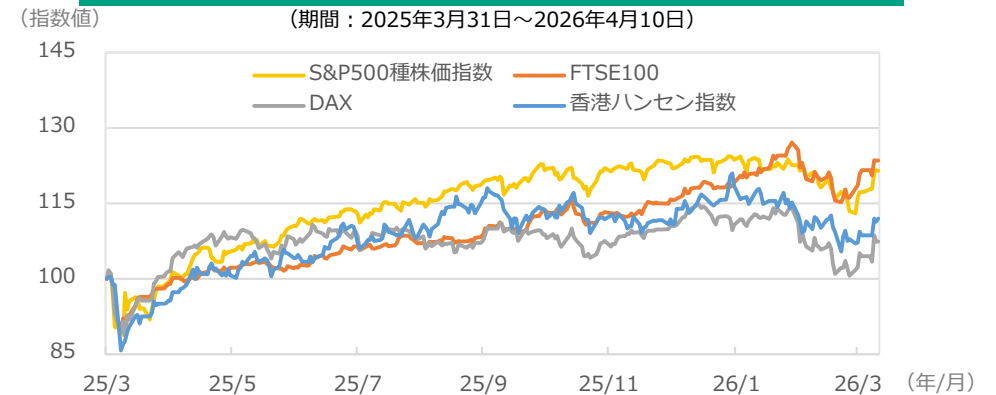
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202604_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成